



# 川下小 開校150周年だより

令和5年5月号

No. 2

記念事業実行委員会

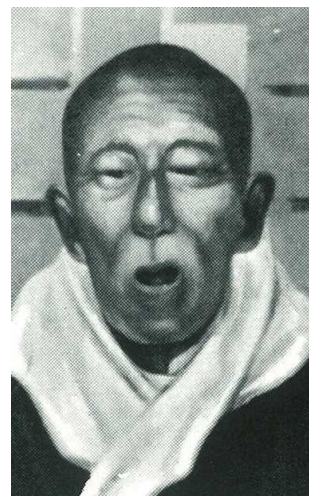
よしだ じきゆう

## 吉田二鳩先生と川下小学校

今号では吉田二鳩先生を紹介します。吉田先生の肖像画は、講堂に飾られていて、皆さんもお馴染みの方かと思います。第二校舎の裏庭ある頌徳碑は、吉田先生に習った生徒たちが先生の徳をしのんで建てられたものです。頌徳碑には、次のようなことが書かれています。

吉田先生は、江戸時代の終わりのころ、18才のときに中津村に住む人たちから頼まれて、村の子どもたちに勉強を教えておられました。明治7年(1874年)に中津小学校ができた後も、その先生となって勤められました。明治22年(1889年)、ご高齢のために学校をお辞めになりましたが、ご自宅にて子どもたちに勉強を教えられました。その間、およそ60年にもなり、教えを受けた人は4世代(曾祖父母・祖父母・父母・子)にも及んだ人もいました。明治33年(1900年)、吉田先生に勉強を教えていただいた人たちが、先生の功績をたたえて広く世間に知らせるために頌徳碑を建てました。

吉田先生は、川下小学校の子どもたちの成長をいつまでも見守ってくださっています。



### 翁 二 吉 碑 鳩 田

学習院長三位公爵近衛篤麻呂篆額  
郷党之間苟有厚德之士能教育其子弟以敦俗則其益在邦家未必無  
小補如吉田翁是也翁山口県岩国之人称平左衛門号二鳩本姓熊谷  
氏出贅吉田氏幼従長谷川寿山桂梅甫森脇斗南樋口善蔵諸家兼修  
和漢学年十八応中津村之聘始下帷教授童生後会小学校令下翁為  
其教員竟以明治二十二年称老衰辭職家居然未廢教授也以至于今  
其間凡六十年矣是以子弟皆薰其德或有四世共受其恩者豈曰小補  
之乎哉翁家貧好施嘗曰待其富然後惠人恐無可惠時也人以為知言  
頃聞其門下相謀立石紀德而以予嘗司牧其県特請予文予思其功之  
益於県治也適不敢辭云銘曰  
重厚德積 可用励俗 蒙養既孚 既寿無辱 莫改爾履  
黒川学也書  
明治三十三年十二月 正四位勲三等原保太郎撰

